平成27年10月 全国百貨店売上高概況

平成27年11月19日

I . 概 況

1. 売上高総額 4,974億円余

2. 前年同月比 4.2% (店舗数調整後/7か月連続プラス)

調査対象百貨店 82社 238店 (平成27年9月対比±0店)

4. **総店舗面積** 6,039,389 m² (前年同月比:-0.9%)

5. **総従業員数** 77,420人 (前年同月比:-1.3%)

6. 3か月移動平均値 3-5月 - 3.1%、4-6月 6.4%、5-7月 3.3%、

(店舗数調整後) 6-8 月 2.2%、7-9 月 2.7%、8-10 月 2.9%

「参考] 平成26年10月の売上高増減率は-2.2%(店舗数調整後)

【10月売上の特徴】

2度の台風上陸の影響を受けた昨年に比べ、本年は月全般を通じて全国的に秋らしい穏やかな天候が続き、土曜日の1日増もあって4.2%増と7か月連続で前年を確保した。地区別ではシェアの高い東京(+7.4%)、大阪(+6.9%)の健闘に加え、全18地区のうち16地区がプラスを記録したことで、高実績につなげることが出来た。

商品別では、主要5品目(衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品)全てが5か月ぶりに前年を上回った。主力の衣料品は月前半の気温低下で秋冬物が動き1.5%増。身のまわり品(+5.5%)や雑貨(+15.5%)も7か月連続で好調を持続している。

細分類では化粧品 (+22.5%)、美術・宝飾・貴金属 (+16.2%) が引き続き高い伸びをキープし、7か月連続で2桁増を記録した。衣料品は、紳士服 (+2.8%)、婦人服 (+0.5%)、子供服 (+3.9%)、その他衣料品 (+5.0%) が揃って前年を確保。家具 (+7.6%)、菓子 (+2.7%)、惣菜 (+1.9%)、その他食料品 (+2.1%) も堅調に推移した。

訪日外国人動向は、昨年10月の免税制度改正から一巡したが、国慶節を中心とした訪日外国人の来日増を活かす形で、購買客数が94.1%増、売上高も96.0%増と増勢が続き、33か月連続のプラスとなった。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「10月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇東日本以西では月の前半は寒気が流れ込みやすく気温が低かった一方、後半は大陸からの暖かい空気に覆われたため高く、月平均気温は平年並みとなった。月間日照時間は北日本太平洋側と東・西日本でかなり多く、西日本では10月としては1位の多照だった。また、東日本と西日本太平洋側では降水量がかなり少なかった。

- (2) **営業日数増減** 30.9日(前年同月比±0.0日)
- (3) 土·日·祝日の合計 10日(# +1日/土曜1日増)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数136店舗)
 - ①増加した:51店、②変化なし:43店、③減少した:42店
- (5) 10月歳時記(秋物商戦、秋の行楽)の売上(同上/有効回答数115店舗)
 - ①増加した:14店、②変化なし:86店、③減少した:15店

全国百貨店 売上高速報 2015年10月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

			5. 語剱調発俊 ()か調発則
地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(−)率(%) ※
全 国	497,472,380 100		4.2 (4.0)
10都市	335,429,441	67.4	5.7
札幌	12,768,678	2.6	1.8
仙台	7,131,131	1.4	0.8
東京	132,377,265	26.6	7.4
横浜	28,932,801	5.8	2.4
名古屋	30,859,169	6.2	3.3
京都	20,251,491	4.1	8.2
大阪	63,632,608	12.8	6.9
神戸	12,768,977	2.6	3.3
広島	10,131,655	2.0	0.8
福岡	16,575,666	3.3	6.1
10都市以外の地区	162,042,939	32.6	1.2 (0.6)
北海道	2,514,192	0.5	-7.2
東北	8,561,819	1.7	1.4
関東	73,453,544	14.8	-0.1
中部	12,400,536	2.5	1.3
近畿	21,183,799	4.3	1.8
中国	11,472,724	2.3	1.6
四国	8,349,920	1.7	3.2
九州	24,106,405	4.8	4.7 (0.6)

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(−)率(%) ※
総額	497,472,380	100.0	4.2 (4.0)
紳士服•洋品	39,077,963	7.9	2.8 (2.6)
婦人服•洋品	116,105,939	23.3	0.5 (0.3)
子供服•洋品	11,371,813	2.3	3.9 (3.8)
その他衣料品	12,733,111	2.6	5.0 (4.7)
衣料品	179,288,826	36.0	1.5 (1.3)
身のまわり品	63,987,981	12.9	5.5 (5.4)
化粧品	34,459,440	6.9	22.5 (22.3)
美術・宝飾・貴金属	29,136,274	5.9	16.2 (16.1)
その他雑貨	19,020,702	3.8	3.8 (3.4)
雑 貨	82,616,416	16.6	15.5 (15.3)
家 具	5,980,821	1.2	7.6 (7.3)
家電	1,553,158	0.3	-6.2 (-6.5)
その他家庭用品	15,521,770	3.1	2.9 (2.7)
家庭 用品	23,055,749	4.6	3.4 (3.1)
生 鮮 食 品	24,822,973	5.0	-0.9 (-1.1)
菓 子	29,559,209	5.9	2.7 (2.6)
惣 菜	30,278,437	6.1	1.9 (1.7)
その他食料品	36,616,008	7.4	2.1 (1.6)
食 料 品	121,276,627	24.4	1.6 (1.3)
食堂 喫茶	13,240,533	2.7	2.7 (2.5)
サービス	5,498,509	1.1	-0.9 (-1.1)
その他	8,507,739	1.7	0.2 (0.0)
商品券	10,138,805	2.0	-4.4 (-4.4)

注)構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、 総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ.地区別の動き

1.10都市売上動向

5.7% (7か月連続プラス)

2.10都市以外の地区売上動向

1.2% (店舗数調整後/5か月ぶりプラス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	5.7	3.8	7か月連続プラス
札幌	1.8	0.0	4か月連続プラス
仙 台	0.8	0.0	2か月連続プラス
東京	7.4	1.9	7か月連続プラス
横浜	2.4	0.1	4か月連続プラス
名古屋	3.3	0.2	4か月連続プラス
京 都	8.2	0.3	3か月連続プラス
大 阪	6.9	0.9	7か月連続プラス
神戸	3.3	0.1	4か月連続プラス
広 島	0.8	0.0	2か月ぶりプラス
福岡	6.1	0.2	4か月連続プラス
10 都市以外の地区	1.2	0.4	5か月ぶりプラス
北海道	-7.2	0.0	6か月連続マイナス*
東北	1.4	0.0	5か月ぶりプラス*
関東	-0.1	0.0	5か月連続マイナス
中部	1.3	0.0	3か月ぶりプラス
近畿	1.8	0.1	5か月ぶりプラス
中国	1.6	0.0	4か月連続プラス*
四 国	3.2	0.1	2か月ぶりプラス
九州	4.7	0.2	4か月連続プラス*

⁽注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、 広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ.商品別の動き

主要5品目は、5か月ぶりに全品目がプラスとなった。身のまわり品と雑貨が7か月連続のプラスとなり、雑貨は7か月連続で二桁プラスとなった。その他の品目は、化粧品、美術・宝飾・貴金属、惣菜が7か月連続、紳士服・洋品、子供服・洋品が4か月連続、その他雑貨、家具、菓子、その他食料品が2か月連続のプラスとなった。また、婦人服・洋品、その他家庭用品が3か月ぶり、その他衣料品が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	4.2	1	7か月連続プラス
紳士服・洋品	2.8	0.2	4か月連続プラス
婦人服・洋品	0.5	0.1	3か月ぶりプラス
子供服・洋品	3.9	0.1	4か月連続プラス
その他衣料品	5.0	0.1	2か月ぶりプラス
衣料品	1.5	0.6	3か月ぶりプラス
身のまわり品	5.5	0.7	7か月連続プラス
化粧品	22.5	1.3	7か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	16.2	0.9	7か月連続プラス*
その他雑貨	3.8	0.1	2か月連続プラス*
雑貨	15.5	2.3	7か月連続プラス
家具	7.6	0.1	2か月連続プラス
家電	-6.2	0.0	5か月連続マイナス
その他家庭用品	2.9	0.1	3か月ぶりプラス
家庭用品	3.4	0.2	2か月連続プラス
生鮮食品	-0.9	0.0	19か月連続マイナス*
菓子	2.7	0.2	2か月連続プラス*
惣菜	1.9	0.1	7か月連続プラス*
その他食料品	2.1	0.2	2か月連続プラス*
食料品	1.6	0.4	2か月連続プラス
食堂喫茶	2.7	0.1	5か月ぶりプラス
サービス	-0.9	0.0	4か月連続マイナス
その他	0.2	0.0	3か月連続プラス
商品券	-4.4	-0.1	56か月連続マイナス

⁽注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス http://www.depart.or.jp